

「たのむよ大人!」

第一回赤ちゃんエネルギー会議



「どうわけで、無邪気に産まれてきた僕たちなわけだけど、大変だね、いろいろよ!」

「大変だね」

「僕たちちゃんと大人になれるのかな」

「みんなで夜泣き大作戦する?」

「おねしょ爆弾とか?」

「まあまあ、大人たちががんばってるんじゃない?」

「たとえば分散型エネルギーシステムって知ってる?」

「知ってる?」

「知ってる知ってる、うち胎教行き届いてたから」

「電気を使うところをつくるって話だろ」

「でもそんなことできるの?」

「太陽光発電とかならできるとかな」

「ガスコージェネレーションシステムは?」

「なにそのガスコ〜じキキキ〜。呪文?」

「要は、使うところでガスで発電すれば、」

「そのとき出る熱も使えるって話。」

「省エネだし、工場なんかでは昔からやってたんだけど、」

「最近では家でもできるようになったんだ」

「え、家で電気がつくれるの?」

「そつたよ」

「家をつくれるのは子どもだけだと思ってた」

「やめなさい」

「エネファームっていうのがあれば、ガスを使って」

「家でも一日中電気がつくれるんだ。発電する時に」

「出る熱は、お湯や暖房に使えて効率的だし、」

「でもさ、そもそもガスって環境に悪いんじゃない?」

「ちゅちゅちゅ。」

「天然ガスは化石燃料の中じゃ、」

「ずっと環境にいいんだよ、ベイベー」

「晴れる日は太陽光、夜とか雨の日はエネファーム。」

「ダブルにすれば、家の電気のほぼ8割がつくれちゃう」

「なるほど、胎教にもなかった話です」

「どうしてか、使うところをつくる話だろ?」

「その究極の家があるって、知ってる?」

「スマートエネルギーハウスでしょ。」

「そんなの朝おっぱい前だよ」

「燃料電池と太陽電池と蓄電池を組み合わせながら」

「家で使う電気も熱もひっくるめてコンピューターで」

「制御する、環境のことを一番に考えた家だよね」

「なんか未来っぽい」

「それだけじゃない。エネルギーを街全体で融通する」

「スマートエネルギーネットワークっていう」

「構想もあるらしいよ」

「すごい!もう未来じゃん!!」

「でもまあなんだかんだ、」

「大人たちも結構やるじゃん」

「じゃ、もう少し僕たちも甘えさせてもらおうか」

「甘えさせてもらおうか」

「うわーん」

「うわーん」

天然ガスがつくるのは、スマートな未来。

Design Your Energy 夢ある明日を

大阪ガス

おかげさまで創業106年